

いくさか 議会だより



P2に関連記事

主な内容 9月定例会 (9月8日～19日の12日間)

令和4年度 主にこんな事業が進められました…4P

村政そこが知りたい〔一般質問〕…8～12P

村民の声…14P

第 **163** 号

2023.10.20

長野県生坂村

消火栓ペイント 作戦完了

村内消火栓のペイント作業を、昨年9月28日から古坂区を皮切りに進めてまいりました。なかなかコロナ禍で活動出来ませんでした。本年9月25日の小立野区をもって10区すべてを完了いたしました。

地上式消火栓は151ヶ所あり、設置位置が確認し易いよう塗装の補修作業と併せて漏水調査も実施しました。

その内容は、総務課に報告してあります。



塗装補修作業

中央要望

9月21、22日、4年振りに中央要望に行ってきました。

地元出身の国会議員へ要望書を提出して主要要望6件の説明をおこない、アドバイスを頂きました。その後、国土交通省の和田事務次官と長谷川大臣官房審議官には



「国道19号生坂村山清路防災工事の早期完成について」・「県道上生坂信濃松川停車場線トンネル整備早期実現について」・「簡易水道広域化推進のための支援について」の3件、総務省の内藤事務次官には「脱炭素事業の財政支援について」・「地方公共団体の情報システム標準化に係る移行期限の見直しについて」・「簡易水道広域化推進のための支援について」の3件と、それぞれに説明をおこない要望しました。

続けて、「地方公共団体の情報システム標準化に係る移行期限の見直しについて」は、デジタル庁社会共通機能グループの吉浜参事官。「森林環境贈与税の交付額の算定方法の見直しについて」は、自治税務局市町村税の寺田課長。「地方公共団体の情報システム標準化に係る財政措置の拡充及び移行期限の見直しについて」は、自治行政局住民制度課デジタル基盤推進室の丸尾課長補佐。それぞれから、要望に対して回答を頂きました。続けて、「脱炭素事業の財政支援について」は、自治財政局財政調査課の犬丸課長。「簡易水道広域化推進のための支援について」は、自治財政局公営企業課の



橋本公営企業経営室長。「脱炭素事業の課題について」は、環境省地域脱炭素事業推進課の河田課長補佐と泉課長補佐の皆さんと各内容について意見交換をおこない要望書を提出しました。翌日は、(株)エコロミの小峯社長に電気の流れについてと、国の考えについてレクチャーを受け、意見交換をおこないました。

議案等の審査結果

案件	名 称	内 容	結 果
報 告	令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告	令和4年度の「実質赤字比率・連結実績赤字比率・実質交際費率・将来負担比率」の報告	報告のみ
	令和4年度公益財団法人生坂村農業公社の経営に関する書類の報告	地方自治法による経営状況の報告	
	令和4年度社会福祉法人生坂村社会福祉協議会の経営に関する書類の報告		
	令和5年度一般会計補正予算【第4号】(専決処分)	歳入（県支出金1,646千円） 歳出（民生費1,646千円）	全員賛成承認
決算認定	令和4年度生坂村歳入歳出決算の認定について	詳細は「広報いくさか10月号」	認 定
事件案	生坂村さぎの平防災拠点施設の指定管理者の指定について	指定管理者：さぎの平常会 常会長 柳澤ちか子 指定期間：令和5年10月1日から5年間	全員賛成可決
補正予算案	令和5年度生坂村一般会計補正予算【第5号】	5ページ参照	
	令和5年度生坂村宮バス特別会計補正予算【第1号】		
	令和5年度生坂村福祉センター特別会計補正予算【第1号】		
請願・陳情	「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情	提出者：長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫	継続審査

第3回議会臨時会 8月18日

案件	名 称	内 容	結 果
選挙	生坂村選挙管理委員会委員及び補充員の選挙	選挙管理委員4名 選挙管理委員補充員4名 任期：令和5年8月18日から4年間	当 選
事件案	業務委託請負契約の締結について	東京都 株式会社エコロミ	多数賛成可決

令和4年度 主にこんな事業が進められました

【商工観光】新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金
 生坂村生活応援商品券 17,040万円
 いくさかマル得商品券スーパープレミアム発行
 事業補助金 20,154千円
 物価高騰対策生活応援商品券 11,731千円



いくさかマル得商品券

【土木部門】

令和4年度若者定住促進住宅建設工事(2棟)
 石原団地7・8号棟(過疎対策事業債) 56,445千円



若者定住促進住宅

【消防部門】

防災公園整備に伴う旧南小学校体育館解体工事
 (緊急減災・防災事業債) 24,816千円



旧南小学校体育館解体工事

【消防部門】

生坂村さぎの平防災拠点施設整備
 (緊急減災・防災事業債) 25,550千円



さぎの平防災拠点施設整備

【総務部門】

生坂村議場映像音声システム更新
 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金) 9,416千円



議場映像音声システム

【総務部門】

いくさか大好き隊事業(隊員19名・区長兼任集落支援員10名) 85,733千円



いくさか大好き隊事業

決算審査意見(概要)

予算執行上の大きな不用額は年々改善されています。

今後とも不用額が見込める場合には、その都度補正するなど早目に対処し、他事業への財源とすることを検討していただきたいと思えます。

自主財源である村税は、若干減収となりましたが、依然として国や県からの交付税などに依存した状況は否めないと考えております。

ふるさと応援寄付金について、財源効果は顕著であります。今後一層増加につながるよう返礼品等の検討をお願いいたします。

今後、水道・学校(教育)・公共施設の改修など多額な財源が必要となることが予想されるため、計画的な財政運営に知恵を尽くして努力していただくことを望みます。

今後とも健全な財政運営に配慮しつつ、財源の有効な活用を心がけ確実な事業執行ができることを願い、報告いたします。

代表監査委員 池本 貞夫
 議会選出監査委員 吉澤 弘迪

5年度補正予算の内容(主な収支)

※数値は四捨五入

■一般会計 (補正額) 3,555 万円 (収支総額) 22億9,324万円

歳入	
地方特例交付金	24万円
地方交付税	2,525万円
分担金及び負担金	34万円
使用料及び手数料	96万円
国庫支出金	534万円
県支出金	41万円
諸収入	258万円
村債	43万円
計	3,555万円

歳出		
総務費	1,507万円	地域おこし協力隊関係1,198万円、CATV施設修繕200万円
民生費	97万円	保育園修繕76万円
衛生費	666万円	未熟児養育医療費等給付200万円、コロナワクチン接種関係452万円
農林水産業費	360万円	農産物加工施設修繕65万円、有害鳥獣防除器具設置補助金140万円 道の駅POSレジインボイス対応等61万円
土木費	600万円	村道維持補修500万円、住宅維持補修100万円
消防費	445万円	退職団員報償費225万円、消防水利台帳システム導入業務220万円
教育費	△120万円	
計	3,555万円	

村営バス特別会計

補正額	△264万円
収支総額	4,506万円

福祉センター特別会計

補正額	35万円
収支総額	9,635万円

議 会 日 誌

7月

- 25日 松塩筑木耆老人福祉施設組合臨時議会及び全員協議会
- 26日 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会総会(大町市)
- 26日～28日 決算審査
- 27日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議/
生坂農業未来創りプロジェクト会議/例月出納検査

8月

- 1日 大町麻績インター千曲線整備期成同盟会総会(筑北村)
- 2日 脱炭素先行地域事業計画作成、設備設計等委託業務選考委員会
- 7日 いくさか敬老の日実行委員会
- 17日 道の駅いくさかの郷定例会
- 18日 やまなみ荘定例会/議会全員協議会/第3回議会臨時会
- 21日 いくさかマル得商品券スーパープレミアム追加販売セレモニー
栄村議会行政視察対応
- 23日 東筑摩郡村議会議員大会(朝日村)
- 24日 赤とんぼフェスティバル実行委員会・区長合同会議
- 25日 犀川改修期成同盟会総会/
一般国道19号整備促進期成同盟会(長野市) /
監査委員協議会役員会/長野県監査委員研修会(長野市)
- 28日 大町麻績インター千曲線整備促進期成同盟会県要望
(長野市) /議会運営委員会
- 29日 ゼロカーボン推進プロジェクト会議/例月出納検査
- 31日 生坂農業未来創りプロジェクト会議/池坂やまびこ会総会

9月

- 3日 生坂村総合防災訓練/消防団中継送水訓練
- 4日 脱炭素先行地域づくり事業事業プロポーザル審査/
いくさか敬老の日実行委員会/議会全員協議会
- 8日 9月定例会開会
- 11日 本会議(一般質問)
- 12日 本会議(一般質問)
- 13日 総務建経常任委員会
- 14日 社会文教常任委員会
- 15日 やまなみ荘定例会/道の駅いくさかの郷定例会
- 19日 本会議(追加議案)閉会/議会全員協議会
- 20日 赤とんぼフェスティバル実行委員会・区長合同会議
- 21日～22日 中央要望(東京都)
- 23日～25日 しべつあきあじまつり(北海道標津町)
- 25日 生坂農業未来創りプロジェクト会議
ゼロカーボン推進プロジェクト会議
- 26日 いくさか敬老の日/議会だより編集委員会
- 29日 例月出納検査
- 30日 かしわ祭

10月

- 5日 埼玉県ときがわ町・鳩山町議会有志の会行政視察対応
- 18日 石川県野々海市議会行政視察対応
- 20日 松本地域正副議長懇話会
- 23日 長野県町村議会議長会第37回定期総会(長野市)
- 24日～25日 全国監査委員研修会(東京都)

報告

主な審査意見 委員会による連合審査

総務建経 常任委員会

令和4年度生坂村歳入歳出決算の認定について

(全員賛成)

総務課関係

問 歳入ではふるさと納税の返礼品の内容をもっと競争力のあるものにしないと利用する人が減っていくのではないか。

答 競争力のある魅力あるものを探していく。

問 地方債が多く感じるが大丈夫なのか。

答 必要な住民サービス業はしていかなければならない。そのために必要な借り入れはするが、地方交付税等で適切に返済している。池坂村営バスについて、今後どうしていくのか。



更新された池坂線バス

答 乗車数が少ないので、バランスを見ながら車両を小さくしていく等、検討する。あわせて池田町の方の利用促進も進めていく。

問 スカイパーク公園のカメラが風向きを見るものが1台、村側を見るものが1台あるが、村側を見るものは固定されている。固定のままでは変化がないので、時々位置を変えてみてはどうか。

答 対応できるよう検討していく。

問 簡易水道料で多額の未納がある人たちがいるがどう対応していくのか。

答 分納で対応している。

振興課関係



旧南小学校解体工事

問 旧南小学校の解体費が、想像以上にかかっているか。

答 校舎のアスベスト処理に費用がかかり、通常の解体費より高い金額になっている。

生坂村さぎの平防災拠点施設の指定管理者の指定について

(全員賛成)

一般会計補正予算

【第5号】 (全員賛成)

総務課関係

問 いくさか大好き隊(地域おこし協力隊)を増やしていくのはいいが、本来の地域おこし協力隊員の在り方とずれているのではないか。

答 地域おこし協力隊員の適切な働き方を再検討していく。

村営バス特別会計補正予算

【第1号】 (全員賛成)

令和4年度生坂村歳入歳出決算の認定について

(全員賛成)

住民課関係

問 歳入で不能欠損が出ている。債権の放棄をする条例を制定した方がいいのではないか。

答 要項は制定して対応している。条例については研究する。

問 脱炭素の取り組みに絡めて、もった収集を資源の再利用に繋げることができないか。

答 コミの分別の仕方についても、住民から分かりにくいという意見がある。再利用についても研究し、公報等で知らせる。

教育委員会関係

問 少子化であるのに、大型のスクールバスを走らせる必要があるのか。

答 脱炭素先行地域事業でEVバス化を考えている。南回りの児童数は案外多く、半分以上座席は

委員会

付託された 令和4年度決算は両委

社会文教 常任委員会

つまる。

問 楽器はどのくらいの上レベルのものを購入しているのか。

答 担当の先生と相談し、教育長査定、村長査定を経て購入している。



バスクラリネット

問 公民館で合唱団設立は可能か。

答 可能だと思う。これから部活動を地域に移行していく。音楽という受け皿があれば、吹奏楽部も村の人と一緒に、地域の活動として盛り上げていけるのではないか。

問 教育委員会、健康福祉課社協で、福祉関連事業などを融通しあうことは可能か。

答 教育委員会で開催していた子どもの居場所づくりを、今年度は社協と行っているのが可能。

特別会計予算

国民健康保険

(全員賛成)

問 国保税の収納率が89.8%で、1割が保険料を払っていない。どのように徴収していくのか。

答 それぞれのご家庭の事情があるが、分納していただくなどしている。

問 健康診査の委託料が不用額として出ている。受診率を上げる工夫は。

答 受診で193ポイントが付く。

介護保険

(全員賛成)

福祉センター

(全員賛成)

問 働いてくれる方の確保は。

答 募集になかなか応募がなく、苦慮している。皆さんのお知恵も借りながら考えていきたい。

問 施設が老朽化してい

る。どのように改修をしていくのか。

答 脱炭素先行地域事業で、空調、ボイラー、壁などを修繕する。残りは過疎債を使っていく。

問 やまなみ荘は、村が中心になって経営しなければ難しいのでは。

答 村民アンケートの結果も反映させながら、検討協議する。

後期高齢者

(全員賛成)

一般会計補正予算

〔第5号〕関係部分(全員賛成)

健康福祉課関係

問 次のコロナワクチン接種は。

答 デイサービスから10月27日に開始し、一般の方は11月から。

教育委員会関係

問 保育園バスシエルトーの破損理由は。修繕の素材を見直しては。

答 経年劣化。素材は検

討する。



シエルトー破損箇所

特別会計補正予算

福祉センター

〔第1号〕 (全員賛成)

問 やまなみ荘のカラオケ機器は、WIFIで通信ができる。使用料は。

答 昼夜1組ずつ、2時間5000円。

問 マイクに使い捨てのカバーをつけたら、安心して使用できるのでは。

答 検討し、対応できればする。

請願・陳情

陳情5第4号「健康保険証」の存続に関する意見書の提出を求める陳情

趣旨に賛同する意見もあったが、様子をみたいという意見が多数となり、「継続審議」と決定。

一般質問

9月
定例会

村政そこが知りたい!!



8名の議員が一般質問



一般質問とは…「議員がフリーテーマで執行部に質問・提案を行う場」で、議員独自のカラーが出せる貴重な機会です。村民の生活に関わる様々な声を村政に届け、議論が行われます。※質問は一般事務に限ります。

9P〔上〕

ひろみち
吉澤弘迪 議員

- 電力会社送電線下の土砂流出の現状について
- 土砂崩落流出を防止する対策について

9P〔下〕

よしと
山本吉人 議員

- 生坂村消防団へのバイク配備について
- 長野県骨髄バンクドナー助成事業補助金について

10P〔上〕

ゆきえ
島 幸恵 議員

- 脱炭素先行地域事業についての村民説明会を終えて
- 事業を行う上での情報公開、対話についての考え方
- 会議録の共有の仕方について
- 脱炭素事業と議員の関わり方について
- 地域住民との協議について
- (株)いくさかてらすにおける共同出資者間の合意について、また損失補填をしない条例作成について
- マイクログリッド事業について
- 公文章開示について
- 情報開示業務にも関わる生坂村職員の人数について

10P〔下〕

かつあき
平田勝章 議員

- 相続登記が義務化されたことについて

11P〔上〕

のりこ
望月典子 議員

- 住民の緊急時の際の連絡先の資料の管理について

11P〔下〕

ふみたけ
字引文威 議員

- 山頂ログハウスの老朽化に対する村としての今後の利活用の考え方について
- スカイスports拠点をPRするためのイベント開催について

12P〔上〕

さちえ
藤澤幸恵 議員

- やまなみ荘・かあさん家等の人材確保について
- 小中一貫教育について

12P〔下〕

ゆする
太田 讓 議員

- 児童・生徒の自転車用ヘルメットについて
- 県道276号について
- 高津屋森林公園の観光促進について



議員 吉澤弘迪

電力会社が送電線下の支障木を皆伐した結果
土砂が流出し集落に被害が発生しているが村の対応は
村長 防災減災上電力会社に支障木の
伐採方法の改善を要望していきたい



問 電力会社が送電線下の樹木を皆伐した結果、跡地より土砂が流出し集落に被害が発生した。その現場を調査視察した振興課長に感想を伺いたい。

振興課長 線下が削れたように表土が7〜8mにわたって滑り落ち、下部の村道に流出していた。線下伐採により地表面を露わにした事が土砂崩落の原因になったと思う。

問 このような土砂崩落の現状は大災害の前触れと思う。この区域を土砂災害危険地域に指定して住民の安全を守る必要があると思うが。

総務課長 指定に当たっては市町村の意見を聞いて都道府県が実施する。住民や道路等に危険が及ぶという事であれば土地利用についても検討し何らかの指定をすることが必要。

問 現在村では脱炭素事業で木材ペレット燃料の原料として村内の森林を伐採して利用することを計画している。村内の山は急峻で雨量が多いと土砂崩落が発生する危険性がある。森林の伐採についてどのように考えているか。



皆伐で土砂が崩壊

村長 木質バイオマスの活用について村内の山林全域を対象に集材できる樹種や量の調査を行い本年度、具体的な設備の導入と事業設計を構築する。業務については業者に委託するが、急峻な場所の多い村の山林で整備が可能な場所と整備の方向性について見出ししていきたい。山林整備は土砂災害抑制にも重要であることから、村のアンケートの中で森林所有者に意向調査を実施しており、将来的な村の山林の在り方についても検討したい。



議員 山本吉人

長野県骨髄バンクドナー
助成事業補助金について
村長 骨髄移植を進め
ドナーの支援のため導入を検討する



問 長野県では平成31年4月から市町村が骨髄等を提供するドナー等に対して助成をする場合に、その経費の一部を補助する「長野県骨髄バンクドナー助成事業補助金」がある。残念ながら生坂村にはまだ導入されていない。導入予定はあるか。

村長 ドナーに対する助成では、入院・通院・面談1日あたり2万円、10日間を上限に、その2分の1を市町村に補助。ドナーが勤務する事業所に対する助成では、入院・通院・面談1日あたり1万円、10日間を上限に、その2分の1を市町村に補助となる。令和3年11月末時点において、県内47市町村がこの助成制度を設けており、生坂村は助成制度を設けていないが、一人でも多くの方の骨髄移植を進め、そしてドナーの経済的な支援をするためにも導入を検討している。

問 近年、生坂村では相次ぐ火災、大雨などの自然災害が増えている。災害時、特に大雨などで道路に土砂が流れ込んだり、樹木が溜まったりとすると大きな車両が通れなくなる。



そこで、小回りが利き狭い道でも比較的動きやすいバイクを消防団に配備すべきと考える。バイク配備は可能か。

総務課長 本村の規模でバイクを所有することは考えにくい。バイク単独での行動は、事故率、事故が起きてしまった場合の死亡率、重傷率も高くなり、団員の安全面からも検討する必要がある。しかし、これまでの火災での教訓として長引く火災では燃料などを届けることが必要になっているため、そうしたことに対応できる資機材の整備も含めバイク配備についても検討している。



島幸恵議員

いくさかてらす経営悪化時の合意は

村長 赤字経営のリスクは少なく、合意はない



問 ゼロカーボン推進プロジェクト会議事録の公開の仕方は。希望する村民が、会議の傍聴をできるか。

村長 会議の要旨をまとめ、公開する。傍聴は許可しない。

問 推進会議に議決機関である議会の議長、副議長が計画の最初から入り、行政と事業を推進しているように見える。議長はプロポーザル公募の審査員もしている問題ではないか。

村長 事業内容を詳細に知る事で、議案審議時に深く意見を交わせる。最終的に採択の可否を決めるのは議員自身なので、問題は無い。

意見 議会の独立性を担保することが難しくなり、主権者である住民に代わって執行機関を監視・評価するチェック機能が果たし辛いのではないか。

問 野立ての太陽光パネル設置について、地域住民と協議のもちかたは。

総務課長 協議は11月から実施予定。区長さんに協力をいただき、候補地を挙げていただくことを想定。不在地主の土地、公共施設でも協議の場をもち、理解を求め周知をする。

問 出資者としていくさかてらすが経

営悪化時の合意はあるか。また、村が赤字補填しない条例制定の考えは。

村長 会社が赤字経営になるリスクは少なく、条例制定の考えはない。出資者との合意も行ってない。

問 マイクログリッドのデメリットは。それを上回るメリットは何か。

総務課長 小さなエリア内で余剰電力、不足電力を融通し合う電力需給管理システムは必須。

意見 メリットだけの答弁だったが、デメリットはないのか。デメリットを言わずに、説明責任が果たされているといえるのか。

問 条例では、生坂村民や生坂村関係者、利害関係がある者しか情報公開請求ができない。誰でも開示請求ができるようにすべきでは。

総務課長 条例第5条第2項により、前項以外の方からの請求にも応じた。

提言 公文書公開条例の目的に「市の保有する情報は市民共有の財産」と明記している所もある。役所が作る文書は本来村民・住民・国民のもの。本来の公文書公開条例の趣旨に反するので、条例改正すべき。



平田勝章議員

相続登記が義務化されたことについて

住民課長 新たなルール(民法904条の3)が導入された



問 宅地、農地などの不動産は、登記をせずに10年が過ぎると(民法904条の3)では具体的な相続分が適用されなくなるが。

住民課長 遺産分割が長期間放置されると遺産分割が難しくなるので、被相続人の死亡から10年を経過した後に行う遺産分割は、新たなルール(民法904条の3)が導入された。この規定は遺産分割が成立してから3年以内にその内容を踏まえた登記を申請しなければ10万円以下の過料の適用対象となる。

問 土地の相続登記が行われていない件数はどのくらいか。

住民課長 相続登記が行われていない件数は把握できていない。

問 令和4年6月議会の質問回答では土地の所有者不明者数は208名で、全体の課税標準額は547万704円であり、税額にすると7万6500円であり、そのうち1名の方については固定資産税課税対象者となっていると答えられているが。

住民課長 所有者不明者数と相続登記者数は違う。

問 常会の土地については長年個人から

土地を「寄附」の形で受け継がれてきている。登記上は未登記となっているが、この土地は個人のものか。

住民課長 常会の土地は個人の方から寄附された土地であり、固定資産税が課されませんが、課税標準額が免税点未満であれば免除される。

問 相続の法律が変わり、登記が承継出来なければ家屋・農地・山林などが国に返還されることになるが。

住民課長 相続人全員が相続放棄をした場合、選出された財産管理人が不動産を国庫に返させる手続きを行うことになる。相続放棄の申述の有無を確認するため、家庭裁判所への照会を行うが、その後の手続きは法務局又は裁判所の管轄となる。

問 過去の道路拡幅・防火水槽などの要望については常会で土地を購入し、村に寄附していたが、村は所有者移転登記について現状は。

振興課長 道路整備や防火水槽の新設などによる所有権登記の今後の進め方については、現在職員により所有権移転業務を行い、登記事務を進めている。



議員 文威 引字

他の市町村には無いスカイスポーツ公園の
特徴を活かして近隣市町村とのイベント開催は

村長 連携について検討したい



平成3年に開場し、関東甲信越、中部圏等、パラグライダー愛好家のフライングエリアとして、山頂ログハウスはスカイスポーツ公園利用者が休憩でき、村民も自由に利用できるが近年老朽化も顕著。

問 年に数件の村民利用、ボランティアによる草刈り等、作業時の宿泊の利用。利用状況を鑑み、今後ログハウスの活用をどのように考えるか。

副村長 ログハウスの活用については、修繕をおこなう事により対応年数が伸びると考える。管理組合と協議してスカイスポーツ公園の運営を行う上で利便性が高まる施設になると考える。
問 年間を通じて有効利用してもらえ、年などを募集し、「公園レストラン・シヨップ・シェアハウス・民泊等」で村の活性化に寄与する活用を進めたい。

副村長 様々な角度から研究しなければと考える。

問 当公園は



他市町村には

無い、スカイスポーツの拠点として施設整備され、村の観光資源である、この公園の利用を近隣市町村と連携し、イベント等の開催で近隣市町村の観光交流等人口増に向けた魅力の発信を。

村長 スカイスポーツ公園の利用に対し近隣市町村の連携により、相乗効果が期待でき、スカイスポーツイベント開催も有効。安曇野市、生坂村、池田町、松川村は令和7年5月から安曇野ナンパーに移行予定。この安曇野ナンパー移行に伴い5市町村でイベントを行う事により各市町村の活性化に繋がっていきますので、近隣市町村の連携について検討したい。



提言 他市町村にはない村の財産「スカイスポーツ公園」の魅力を生かす村の少子高齢化対策、移住促進、観光誘客により、生坂村ファンを獲得し村がより活性化できるように提言する。

緊急時・有事の際の連絡先を支援が必要となる人のみならず、全世界を把握するため、民生委員が活動を始めた。その目標をいつまでに達成するのか、期限は設けてあるか。



議員 子典 望月

村民の有事の際の連絡先を役場と共有すること
健康福祉課長 課題もあるので
今後定例会でしっかり検討したい

健康福祉課長



健康福祉課長 定例会で毎回状況は確認しているが、どうしても支援が必要となる人優先になってしまう。民生委員も年齢制限がなくなると高齢者もいたりして無理はさせたくない。期限を設けるといことは定例会で検討させてほしい。

提言 民生委員も仕事や、体調などで大変だと思いが、良い取り組みなのでぜひ頑張ってもらいたい。
問 聞き取った資料を今までのように民生委員、ケアマネージャーというように別々に管理するのか。役場で一括管理する考えはあるか。

健康福祉課長 民生委員には守秘義務があり、それを信用して情報を提供している方もおられると思うので、役場に提供を求めていると思わないと思うが、一方で民生委員と連絡が取れないと何も分からない

といった心配もある。そこで役場にも情報を提供してもよいという確認書を作成し、共有管理をおこなう方向で調整を始めた。支援が必要な人の情報は他部署には見せたくないが災害時には臨機応変に対応したい。

問 役場との共有管理のため調整を始めたところだが、具体的にはどういうことか。
健康福祉課長 令和3年に始めた「防災福祉力カンタンマップ」で、社会福祉協議会と健康福祉課で、対象者を避難支援の優先度でランク付けして登録し、消防側で災害情報と照らしながら、早めに避難を開始するよう運営を始めた。

問 一般住民の家族、親族への連絡先の役場との共同管理はどうなるのか。
健康福祉課長 聞き取りもまだ途に就いたばかりで、課題も様々ある。今後定例会でしっかり検討していきたい。



太田 議員

村の観光発展には
高津屋森林公園の進化が必要
村長 ソフト・ハード両面から効率的で
有効な施設活用を検討し進めていきたい



問 高津屋森林公園の山を活かし、山を楽しむ最高の観光スポットに進化できる。組合の構想や計画は。



ツリーアドベンチャー

振興課長 土俵付近のキャンプサイト増設、山頂展望の樹木整備、現在のキャンプ場周辺の景観整備などの意見が出ている。

問 本年4月の「里山整備利用地域活動推進事業」及び「里山資源利活用推進事業」に追加された「開かれた里山」に申請して事業を進める考えは。

村長 申請の準備を進めていきたい。県道276号について

問 擁壁から玉石等が抜け落ちている箇所を複数確認した。建設事務所と連携し早期修復を求めるべ



擁壁の欠損箇所

きでは。

振興課長 今年度は路肩法面の復旧工事や天神沢への排水路改修工事を進めて頂いている。指摘の箇所についても早急に対応して頂く。
児童・生徒の自転車用ヘルメットについて

問 幹旋や配布ではなく、趣味嗜好、デザインの多様性に併せ、一定額の補助にしてはどうか。

教育次長 搬入業者にデザインなども確認しながら当面は変更せずおこないたい。

提言 安全規格内でのデザインを検討し利用者アンケートも取りながら進めて頂きたい。



藤澤 幸恵 議員

村の働き手確保のために、ふるさとワーキングホリデー事業はどうか
村長 やまなみ荘や農業公社と検討していきたい



問 現在、やまなみ荘・かあさん家等の人材確保に苦戦していると聞く。ふるさとワーキングホリデーは、短期間村内企業で仕事を行いながら村の魅力もPRでき、人材不足が生じている両施設の課題解消の一端をカバーできると考えるが村としての事業をどう考えるか。

村長 滞在期間が2週間から1か月程度と長期的な働き手とならないため継続しての職員確保は難しいと考えるが、ふるさとワーキングホリデーを利用して短期間で行える農業公社の梅漬け作業や農作物の収穫作業により生坂村で働くことで、生坂村を第二の故郷として居住地としていただき、やまなみ荘や、かあさん家を働き場としていただくことが実現すれば大変ありがたいことなので、今後、やまなみ荘や農業公社と検討してまいります。

提言 若い世代が職場に入ること、現場の活性化が期待される。是非検討を。

問 小中一貫教育について、R5年に協議会の設置とあるが、構成はどのようになっているか。

教育長 協議会の構成については具体的に話していないが、以前設置をしていた構成員（議会議員、教育委員、学校関係者、保護者代表等）を参考に構成したいと考える。

問 小学校高学年段階で教科担任制導入とあるが人員確保や小学校、中学校の授業スケジュール調整など具体的な計画・準備は整っているのか。

教育長 研究検討すべき課題が多く、まずは中学校の教員が小学校で出前授業を年に数回程度行うことから始めていく案を検討している。

問 コミュニティスクールについてどのような体制で進めていくのか。

教育長 学校支援の部分が大きな役割を占めているが、学校運営への参画や学校関係者評価も役割となっている、そうした役割をどのように実施していくか、運営委員会のあり方も含め研究をする。

第74回東筑摩郡 村議会議員大会報告

東筑摩郡村議会議員大会が、朝日村中央公民館で開かれました。大会で決議された内容は、5村ともすべて道路整備促進で、今後国県へ要望活動を行っていきます。

生坂村議会要望内容(要旨)

県道上生坂信濃松川停車線は、長野県を東西に結ぶ国道19号線と北アルプスに沿って北上する国道147号線を繋ぐ重要な道路である。地域の生活・文化・産業・経済・物流の発展においてその重責を担っている。

将来的には、地域高規格道路松本糸魚川連絡道路と関連する道路であり、地域医療の連携、災害時の協力体制にもその果たす役割は最上位の路



線と認識している。

しかしながら、急峻な地形のうえ、幅員も狭小で急勾配、急カーブが多い道路形状のため通行の難度が高く、特に冬期間は一層困難となる状況。

本路線は

村民の通勤・通学や通院、買い物など村民の生活に密着した、なくてはならない生活道路である。特に、二次医療圏のあづみ病院までの緊急搬送路となっている。

このような状況から、村民をはじめとする地域住民や、利用されるすべての方がいつでも安全に安心して通行できる。災害に強い道路環境の早期整備が必要である。

以上の理由により、県道上生坂信濃松川停車場線のトンネル整備促進を要望しました。



池坂やまびこ会

池坂やまびこ会とは、生坂村・池田町の議員の会です。隣町でも、議員同士が交流する機会はなかなかなく、貴重です。また、新型コロナウイルスの流行があつたので、4年ぶりの開催でした。やまびこ会事業として、①基幹道路の整備促進②交流会等③友好関係の促進、などがあります。

友好関係の促進として、例えばいくさかの郷で池田町のハーブを売る、池田町で生坂のぶどうやおやきを売る、などお互いのいいところを知らせ合うのはどうか。住民から鳥獣被害が深刻との話があり、町村で協力し合わないと、根本的な対策にならないのではないか。高齢化に伴う交通弱者対策の



研究、情報交換をしたらどうか。などの意見が出ました。

また、松本市議会議員、芝山稔様をお招きして、「議会議員の果たすべき役割とは」という題でお話していただきました。現行憲法と地方自治のあり方を通し、議会活動とはどのようなものかということ、また、9月定例会の決算審議を前にして、決算カードの見方などを教えていただきました。

懇親会では、村や町の課題、お互いの議会のことなどを話して意見交換をしました。池坂やまびこ会では、いろいろなことで議員同士が協力し合い、それが町・村の活性化につながっています。



村民の声

大好きな生坂村

平林 美晴



コロナが収束して、人との交流ができるようになってきました。

近頃、生坂村もメディアで紹介され、道の駅いくさかの郷、ぶどう農家、かあさん家の灰焼きおやきや映像、記事が流れ、村民としてうれしく思いました。

「道の駅いくさかの郷」が出来、野菜など出荷し、買い物しながら村民の皆様やお客様との交流が楽しくなりました。

生坂村で一村一品運動が始まった30年前を考えると、生坂産のお土産が沢山出来てとても嬉しいです。

私は、四半世紀前にパソコンを習い、その当時、生坂村を何度検索しても出てきませんでした。私は、生坂村讃歌が好きです。パソコンでもスマホでもよいのですが、生坂村讃歌と検索してみてください。村長の撮影した美しい映像と歌声が流れます。生坂村議会と検索してみてください。議会だよりや議会動画が出てきます。いつでもどこでも村の様子がわかります。

新しく村民になられた方も、生坂村で育った方も、生坂村に興味を持った方も生坂村を見てください。小さな村の村らしい村、見てください。

2023年9月1日、生坂村人口1680人です。

村民アンケートについて

議員報酬アンケートにご協力を頂きありがとうございます。議員全員、拝見させて頂きました。結果として、配布数666に対して回収数427、問1の回答として継続174、見直し253、問2の回答として高い197、少ない7、中止40、という結果でした。頂いたアンケート結果、御意見を参考にさせて頂きながら今後、報酬について検討・研究を行ない、次回改選までに結論を出していきたいと思えます。頂いた御意見については、11月から児童館「たんぼぼ」図書室で閲覧できます。

表紙等の写真のお願い

議会だよりの表紙等の写真は、イベント等で議会編集委員が撮影した写真を許可なく掲載をする場合がありますが、掲載許可のご協力をお願い致します。

議会改革検討会

3年前に立ち上げた談話室「山彦」は新型コロナウイルス感染症が流行し、地域に出掛けるの懇談会が出来ないことから、少人数でもできる懇談会として始めました。平日の昼間の開催のため、出席者も少ないことやコロナウイルス感染症も5類に引き下げられたため、今後は議会から積極的に団体等の懇談会を開催してまいります。

7月には社会福祉協議会との懇談会を実施したところです。また他の課題であります子供議会の開催や議員の資質向上に向けた研修や議会制度の検討などについても引き続き研究をしてまいります。

これからも村民の皆さんに身近に感じてもらえる議会を目指してまいりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

座長 平田 勝章

編集後記

議員になって五ヶ月が過ぎました。悪戦苦闘の毎日の中でふと、我に返ると心に余裕がないことに気づきました。心に余裕がない時には正しい判断はできないものです。最近、山登り・釣り等に行き、心のリフレッシュをしています。あとは、おいしい食事をすることもとても大切と感じます。

食欲の秋、スポーツの秋、加えて読書の秋。大いにこの秋を楽しもうではありませんか。十月からは特にキャンプがオススメです。私もバイクでソロキャンに行こうと思っています。

(山本吉人)

編集・発行責任者

議長 太田 讓

編集委員

委員長 藤澤 幸恵

委員 山本 吉人

委員 島 幸恵

委員 字引 文威

委員 平田 勝章